



Sapporo Gakuin University

学園広報

2005.11.4 No.92

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
<http://www.sgu.ac.jp>



小林好和

新しい『こども学』の創造 2006年4月 人文学部こども発達学科を開設

子育ての社会化。

豊かな授業実践を探る

札幌学院大学人文学部教授
こども発達学科 学科長
(2006年4月就任予定)
来年は人文学部が開設されて三十年、その姿がめっきり少くなりま
した。急速に変貌した自然・文化、そして家庭のなかで、彼らの生活と未来に熱い視線が向けられています。こ
とに思います。私たちも学生共々、彼らの活動の現場に入り、そして研究室へ戻る

がスタートします。かつて公園で、また近くの川で声を張り上げていた子どもの文化、そして家庭のなかで、彼らの生活と未来に熱い視線が向けられています。ことに思います。私たちも学生共々、彼らの活動の現場に入り、そして研究室へ戻る

—少子化時代のこどもの発達と未来—

文化、そして家庭のなかで、彼らの生活と未来に熱い視線が向けられています。ことに思います。私たちも学生共々、彼らの活動の現場に入り、そして研究室へ戻る

こども発達学科の特色

■「人」を学ぶ多様なカリキュラム
「こども」は、子どもである前に、ひとつの人間です。人文学部の「人」を学ぶ多様なカリキュラムと連携し、人間としての子どもをより深く探求します。

■教科指導に強い小学校教員を養成
「こども」を学んだ人が小学校教員になってほしいとの願いから、教職にかかる科目を多数配置し、小学校9科目の「指導法」で質の高い講義を行います。

■1年次からの実践型学習
こどもは「遊び（活動）」をとおして発達します。こどもの発達を知る上で重要な活動を分析し、実践プラン・方法を身につけるカリキュラムを用意しています。

■自由度の高い教育
人は、一人ひとりが異なる価値観をもち、学びたいこともあります。一人ひとりの「学びたい」に応えるため他学部科目も履修できるようにしています。

この新学科は、人文学部人文学科開設以来ほぼ三十年に及ぶ教育・研究の実績を活かし、初等教育をはじめ、子育て支援、特別支援教育などについて専門的に学ぶことができます。独自の教育を通じ子どもも、青年の発達に対する広範な支援活動に寄与する高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた人材養成を目的とした学科です。特に教科指導と子どもの発達支援に強い小学校教員の養成を目指しています。

カリキュラムは、人文学部人間学科、臨床心理学科の「人」を学ぶためのカリキュラムと連携を深める学習分野により子どもの心と児童支援の観点から教育にかけられています。

カリキュラムは、人文学部人間学科、臨床心理学科の「人」を学ぶためのカリキュラムと連携を深める学習分野により子どもの心と児童支援の観点から教育にかけられています。

また、一年生の「基礎ゼミ」から「専門ゼミナール」・「卒業研究」まで少人数の演習科目を通じて、発達と教育、学校教育の実践・理論を深く学ぶことができます。

特に、子どもの「遊び」を通して発達に着目し、「ものづくり」とこども発達」「地域の子ども連携マネジメント実習」等を通じた実践型学習、学校現場の実務経験者による教育などが用意されています。この夏新装された総合

本学が構想を進めていた新学科について、本年九月二十八日付で文部科学省に届出を行いました。これにより、明年四月から道内では国公私立大学を通じて初めての「こども発達学科」（入学定員五十名）が誕生します。

入学定員
50名教科指導に強い小学校教員。
こどもの専門家を養成

体育施設に加え、小学校教室、ピアノ練習室、図工室を設置するなど、実践的学習施設が用意されています。

小学校教諭一種
免許状等の取得

A評価

B評価

C評価

D評価

E評価

F評価

G評価

H評価

I評価

J評価

K評価

L評価

M評価

N評価

O評価

P評価

Q評価

R評価

S評価

T評価

U評価

V評価

W評価

X評価

Y評価

Z評価

最高評価で「第一種校」指定継続

な教育システムが総合的に高く評価されたもので
す。
二〇〇四年度の臨床心理士資格審査ではこれまで最多の十名が合格し、二〇〇一年度の第一回修了生から延べ二十三名が臨床心理士に名を連ねています。

大学院臨床心理学研究科は、日本臨床心理士資格認定協会に「第一種校」の指定継続の申請をしていましたが、このほど最高の総合評価Aで指定継続通知を受けました。今回、指定継続の申請をした大学院十七校のなかでA評価を受けた大

学院は、本学一校だけとのことです。
第一種指定大学院は、臨床実習のための相談施設が整えられていることが条件で、大学院修了とともに臨床心理士資格審査の受験資格を確保しており、白木を用いています。サブアリーナはバスケットボールコート二面の広さとバレーボール公式競技が可能な高さを確保しており、白木を用いた明るく開放的なつくりです。トレーニングルームは、天井までのガラス張りの構造で、後援会・同窓会から寄贈された最新のトレーニング機器が備えられています。サブアリーナは電動バスケットゴールを備え、ハードなスポーツにも耐えうる丈夫さです。

室内練習場は第二キャンパス野球場横に建設されましたが、ゴムチップ入りで人工芝貼りの全天候型施設で、二人が投球可能なブルペンも設置。窓から周辺の緑や光を取りこみ悪天候や冬期の練習環境をサポートします。



総合体育馆の概要	
●メインアリーナ	面積1,630m ² (約44m×約37m) バスケットボール 2面 バレー・ボール 2面 バドミントン 8面 テニス 2面 ハンドボール 1面 ランニングコース (1周164m)
●サブアリーナ	面積830m ² (約38m×約22m) バスケットボール 1面 バレー・ボール 1面 バドミントン 1面 テニス 1面
●トレーニングルーム	面積484m ² (約22m×約22m)
●その他	リラックススペース (1階、2階)、ロッカールーム男子(トイレ、シャワー8ブース)、ロッカールーム女子(トイレ、シャワー5ブース)、身障者用トイレ、製氷機ブース



総合体育馆・ 室内練習場が完成 7月29日に竣工式

総合体育馆の建設が進む第二キャンパスで総合体育館および室内練習場が完成し、七月二十九日に竣工式が行われました。

総合体育馆はメインアリーナ、トレーニングルーム、サブアリーナで構成され、シャワーブース、ロッカールームなどを作成。外壁は江別市特産のレンガを部分的に使用し、自然に囲まれた住宅地の景観に配慮された設計となっています。メイシア



現在、体育センターの改修工事が進んでおり、二〇〇六年の完成時には総合体育馆、体育センター、第二学生館が渡り廊下でつながり、総合体育馆として生まれ変わる予定です。

『江別ブランド事典』自治体総合フェア2005に出展

本学電子ビジネス研究センターが中心となって開発した『江別ブランド事典』が「自治体総合ブランド事典」(江別市・東京ビッグサイト)に展出されました。本経営者協会が主催し、地方自治体に関する情報、防災、環境、福祉、文化などの分野に焦点を合わせたイベントで、九月に沿うものと



市民大学 「ふるさと江別塾」

回目の開催となります。今回の中の出展社は百三十社を超えて、来場者数は三日間で約二万四千人です。開発した『江別ブランド事典』の開発は、二〇〇三年度に江別市・江別IT技術者協会、本学電子ビジネス研究センターのメンバーが説明を担当しました。初日は開発責任者である渡邊慎哉

して要請を受けたものです。

回の開催となりました。今

度は、社団法人日本経営者協会が主催し、地方自治体総合ブランド事典

が「自治体総合ブランド事典」(江別市・江別市・江別市)に展出されました。自

然、防災、環境など

とで、ニューメディア開発協会が過去の

イベントで、九月に沿うものと

補助金事業の中から

開発協会が過去の

イベントで、九月に沿うものと

開発協会が過去の

親責任論などが根強くあります。そこで今回、人文学部において教育、発達、おもてなしを学ぶことができた貴重な機会となりました。



人間論特殊講義：21世紀の人間科学 8月1日～8月6日（公開講座） テーマ：「心理学」ブームを解体する

人文学部における「二十一世紀の人間科学」（第四回目）は、このところマスコミや出版物等でも続いてきた「心理学」ブームに焦点を当て、「心理学が社会に与えてきた負の貢献」を多面的にあぶり出し、眞の心理学の再生を考えるという目的で実施しました。

昨今の不安定な社会的状況における「心のケア」とその効果への過剰な期待、その背景にある心を実体概念として捉えがちな傾向、社会の心理主義化、若者の間で氾濫し、人の間の安易な判定」に用いられる心理テスト、いわゆる「三歳児神話」を源流とする子育てにおける母親の責任論などが根強くあります。そこで今回、人文学部において教育、発達、おもてなしを学ぶことができた貴重な機会となりました。

社会言語コミュニケーションを専門とする教員に社会情報学部で社会学専門の教員が加わり、これらの状況や問題点について、学生を対象とした調査の結果等を含めながらそれまでの立場から提言を行いました。最終日は、五名の講師全員が参加し、受講者（社会人を含め約三百名）との相互の意見交換を含むシンポジウムで盛り下ろされました。

シンポジウムでは、医療従事者のカウンセリングの実態を踏まえながらの「人間を評価する」という問題点、英語英米文学科学生から学校教育と心理学等に関する問題等、

洋上風力発電で環境循環型地域づくりを目指す瀬棚町の堂端重雄氏よ

り、瀬棚町の取り組みについて、また天然ガスコジエネレーション導入

し、全国的に高いエネルギー効率で工場を運営しているサッポロビール

北海道工場の山本浩三氏より、コジェ

ネやエスコ事業の取り組みについて

学びました。北海道グリーンファンド事務局長の鈴木亨氏は、NPO法人

による風力発電事業について説明さ

れ、市民運動としてのファンデンド設立の意義及び課題を指摘されました。最

後は、原子物理学専攻の北海道大

学教授の加藤幾芳氏より、原子

力発電と環境問題について学

びましたが、講義日は広島原爆投下の記念日とも重なり、原子力についてもとと知る必要を感じた講義となりました。

我々、一人ひとりが、エネルギー問題をどう理解しどう判断するか、多角的な視点から

学ぶことができた貴重な機会となりました。

例えば、各学生の十八年

間の総生活費ならびに生涯

学費の計算、悪質商法（マルチ商法、デート商法など）

の「お金と暮らし」

をテーマにして金融経済の

問題を解得したのではないかと思

います。またお金（貨幣）の社会

的役割、貨幣が決済手

段として社会的に受容されること、円での貸付と返済を契約する貨

幣経済を深く認識し、

それとともに、悪徳商法や闇金などから自己の資産を自己責任に

おいて守り、学生がよき美子教諭（一九九七年卒業）の資産を自己責任に

おいて守り、学生がよき美子教諭（一九九七年卒業）の資産を自己



卒業生

この人――

日本陸上競技選手権 10種競技 5位入賞 農業 谷本 幸治 さん

社会情報学部を一〇〇三年に卒業した谷本幸治さんは、空知郡の北村で家業の農業を手伝いながら十種競技を続け、六月に東京で行われた日本陸上競技選手権で五位に入賞しました。十種競技は一日間にわたって百m・走り幅跳び・砲丸投げ・走り高跳び・四百m走・百十mハーフドル・円盤投